## 再評価結果(平成16年度事業継続箇所)

担 当 課:近畿地方整備局都市整備課

担当課長名:新階 寛恭 事業名 事業 事業 やまてかんせん かんざき 山手幹線(神 崎工区) 区分 主体 街路事業 兵庫県 起終点 延長 ひょうごけんあまがさきしたかだちょう 自:兵 庫 県 尼 崎 市 高 田 町  $0.8 \, \text{km}$ ひょうごけんあまがさきしかんざきちょう至:兵庫県尼崎市神崎町 事業概要 ¦ 本路線は大阪府境から尼崎市、西宮市、芦屋市を経て、神戸市に至る、阪神間各市を広域的に 連絡する東西主要幹線道路であり、阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、国道2号及び国道43号の交通機能を補 完し、 阪神間広域道路ネットワークを形成する路線である。 本事業区間は、大阪府境付近の藻川橋に接続する延長803mの現道拡幅工事である。

S57年度工事着手 S48年度事業化 S46年度都市計画決定 S48年度用地着手 60億円事業進捗率 97% 供用済延長 全体事業費 0 . 5 km 計画交通量 15,400台/日 B/C 総費用 総便益 ¦ (残業)/(事業全体) 基準年 費用便益 (残事業)/(事業全体) 分析結果 (事業全体) 2 . 9 3/61億円 174/174億円 平成15年

「事 業 費:3.0/60.6億円 /走行時間短縮便益:166/166億円 維持管理費:0.4/0.4億円 |走行費用減少便益: 4/4億円 交通事故減少便益: 4/4億円

事業の効果等

円滑なむ リティーの確保(現道にバス路線有り)

災害への備え(孤立化集落の解消、緊急輸送道路の位置づけあり)

他のプロジェクトとの関係(兵庫県社会基盤整備プログラム及び尼崎市街路整備プログラムの位置づけあり)

他5項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

地元から早期4車線化の強い要望があり、尼崎市からも早期完成の要望がある。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 整備中に阪神淡路大震災が発生し、本路 線の重要性が更に高まり、平成10年度より隣接する戸ノ内工区とともに事業を進めている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

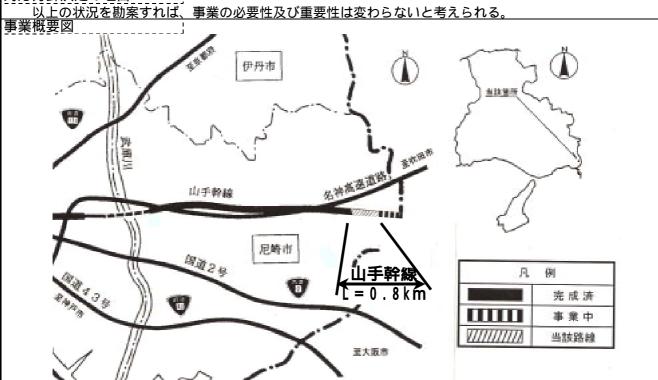
現在、用地取得は全て完了している。既に約540mの区間において供用しており、残る藻川橋取付部 こついて、交通の切り替え等、戸ノ内工区と調整し、平成18年度に全線供用予定である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 - 大規模工場の補償に難航したが、平成1 現在、藻川橋取り付け部の工事鋭意進めている。 3年度末には移転を完了し、

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性及び重要性は変わらないと考えられる



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。